



認定企業

01

株式会社 岡崎組

所在地 宮崎市大字恒久1800番地1

業種 建設・土木

代表者 代表取締役 岡崎勝信

# 働き方の選択肢を増やし 生き生きと働ける会社に！

長時間労働の常態化が課題となる中で、所定外労働時間の削減や年次有給休暇の取得促進などに、明確な目標を掲げて取り組んでいる。



## Q 取組の成果は？

A. 6年前までは一人当たり月平均100時間近くの所定外労働が常態化していましたが、現在では月平均33時間に収まっています。また、現場の工事条件にも週休2日制や余裕工期を設定したほか、従業員のトイレ・休憩室を整備したことにより、男女ともに働きやすい労働環境を整えました。そのおかげか、ここ数年は女性の就職率も上がりました。



さらに、クラウドツールの活用により休暇中のサポート体制が整い、有給休暇の取得率上昇や男性育児休暇の完全取得、所定外労働時間の抑制やまとまった連休の取得実現にも繋がりました。

## Q 取り組むきっかけは？

A. 「生産性を上げる」という経営方針に沿って行動したことが、結果的に従業員の働き方を変えることに繋がりました。人手不足や突貫工事による長時間労働など、業界特有の課題を抱えるなか、約5年前から有給休暇の取得促進や所定外労働時間の削減など働き方の抜本的改革を推し進めてきました。



## Q 今後の取組について

A. 総労働時間を減らし、最大限の粗利を生み出す「人時生産性(粗利/総労働時間)」の向上が大きな方針です。そのためにも従業員教育やスキルアップのサポートなど、仕事に高い付加価値をつけるための取組を始めています。

今後は、更なる所定外労働時間の削減や休暇取得の増加を推し進めるとともに、従業員のスキルアップのための教育制度の充実や、子育ての時間の確保など、個人が「自由」に「柔軟」に働き方を選択できるような環境を整備していきたいと考えています。

## Q 取組の内容は？

A. 効率的な業務の遂行を目的として、紙の回覧やタイムカード、各申請書などは全て電子化しました。現場スタッフにはスマートフォンを支給し、クラウドツールを最大限活用することで作業や時間の効率化を図りました。

現場ではドローンや3Dキャド、ICT施工の活用など最新の技術を導入したり、各部署内で目標を数値化したりすることで生産性を向上させ、所定外労働時間の削減を実現してきました。

その他、未就学児の子育てをする従業員に年10日間有給の休暇を付与する「看護休暇」の新設や、男性の育児休暇取得のための風土づくり、時短勤務や始業・終業時刻の繰り上げ、繰り下げなど各々にあった働き方を選ぶように制度を整えました。

## VOICE 代表者の声

代表取締役 岡崎 勝信



弊社としては、経営上の課題を解決することが、生産性を上げることであり、それが結果として働き方を変えようと考えています。ひなたの極は、あくまで一つの指標であり、生産性向上の旗印にしたいです。

今後も生産性向上に努め、外部から見たときに岡崎組が働きやすい会社であることの目印にしていきたいです。